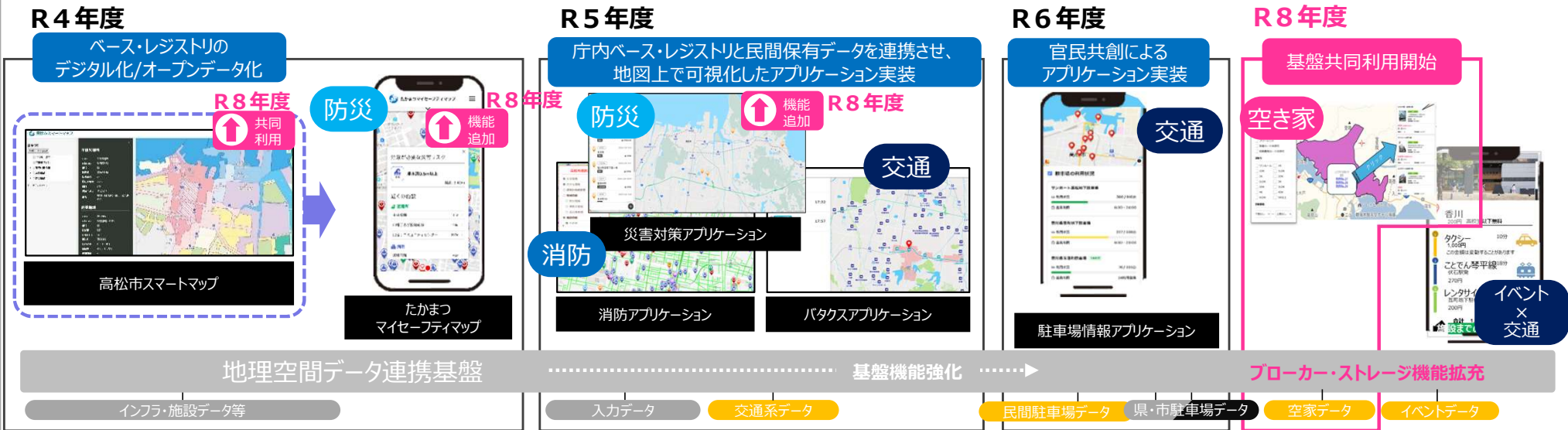


主たる申請団体	香川県高松市	総人口	427,951人	総事業費	103,684千円
従たる申請団体	香川県土庄町				
概要	人口減少、少子・超高齢化社会が深刻化する一方でサービスは多様化しており、地方における都市経営は極めて厳しい環境にある。本事業では、高松市が構築した地理空間データ連携基盤を活用し、行政が関わるサービスの構造を見直すことで、住民・行政双方の効率性を高め、継続的に質の高い生活に繋がるサービスを提供していく。				

背景・対応方針

課題 各自治体、各部局が個別に地図やサービスを構築しているため、異なるアプリケーションを使い分けなければならないほか、県域で一体的なサービスを楽しむことができないため、住民の利便性が低下している。

解決施策 高松市が構築した地理空間データ連携基盤を活用し、行政が関わるサービスの構造を見直し、住民・行政双方の効率性を高め、基盤をハブとしたデータ連携により、継続的に質の高いサービスを提供するとともに、県内自治体において地理空間データ連携基盤やサービスを共有することで、分野横断的・広域的なサービスの提供が可能となる。



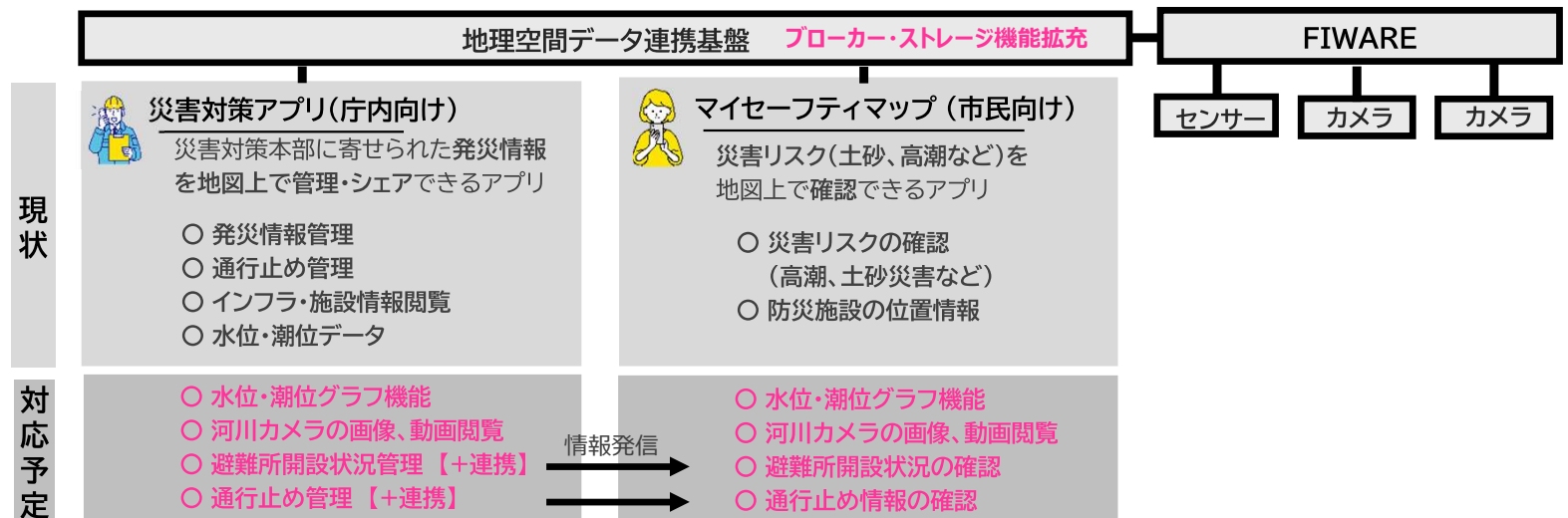
実現する姿
地理空間データ連携基盤をハブに様々なデータを連携させ、新たなサービスを創出することで、質の高いサービスを楽しむことが可能となる。また、県域で広域的なサービスを提供することで、災害時の安全確保や移動の最適化など、住民の利便性向上や質の高い生活を実現する。

サービス名	災害対策アプリケーション・マイセーフティマップ	事業費	56,139千円
ターゲット	市民		
サービス内容	(サービス提供自治体：高松市)		

高松市では、地理空間データ連携基盤を活用し構築した、「災害対策アプリケーション（庁内向）」及び「マイセーフティマップ（市民向）」の機能強化を図り、逃げ遅れゼロに取り組む。両アプリケーションの既存ビューワをアップデートし水位・潮位等情報のグラフ化及び、危険度のライブ化、「通行止情報」「避難所情報」等をリアルタイムで地図上に可視化し、発災時に市民が必要とする防災情報を効果的に発信できる仕組みを構築する。また、「通行止情報」「避難所情報」は、災害対策アプリケーション（庁内向）による入力・管理により、市民向けのマイセーフティマップにリアルタイムでデータを連携させ、市民への迅速な情報提供を実現する。これにより、市民が早期に避難行動を取ることが可能になる。

これらの実現のため、地理空間データ連携基盤のブローカー及びデータストレージ機能を実装する。なお、この基盤機能の拡充により、各種動的データ活用による新たなサービスの創出が可能となり、市民の利便性向上につながる。

また、将来的には、蓄積した防災データのAI等による分析や、県内自治体と共同利用を行うことで、県内全域の逃げ遅れゼロを目指す。



☑ 上記サービスの実装にあたり、国による他の補助金等の対象となる可能性のある事業は、当該補助金等を利用することについて確認した